

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	福祉サービスに関するパブリシティ充実事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課				
施策	4-7	誰もが安心して利用できる社会サービス体制づくり	主管課長	矢口 道夫				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	マスコミ	意図	福祉情報の提供
事業内容	福祉施策の情報をマスコミに提供し、広く周知を図ります。			
事業開始から現在までの状況変化	市施策の情報提供については、観光や地域イベント、ブランドづくり、まちのイメージの確立等、様々な行政サービスに活用しており、PRの大切さを認識している。福祉サービスについても積極的に情報提供を行っています。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
①	まちづくり達成度アンケート 市からの情報提	49.80	50.20	53.70	人	↑↑↑	福祉サービス部門でそう思う、どちらかというと思うの割合
	②						
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 福祉サービスのPRを如何にわかりやすく、簡潔な表現を心がけ、サービス利用者の理解度を高められるよう努める。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		71,780	69,870	69,093			
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		71,780	69,870	69,093			
人役・職員(人)		0.01	0.01	0.01			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 必要性は変わらない
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき		効率性	対象者の適切性
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	各分野への福祉サービスの普及に努める。	③取り組みの課題	マスコミを利用し、広く福祉サービスの普及に努める。
②今年度(H26)に実施した取り組み	イベント開催等への参加やケーブルテレビの活用を積極的に行い、福祉サービスの普及に努めた。	④今後の改善計画	イベント開催等への参加や企業の活用、ケーブルテレビの活用を積極的に行い、福祉サービスの普及に努めたい。